

平成25年度 第4回荒川地区地域審議会 会議録

1. 開催日時 平成26年2月4日（火）15:30～17:00
2. 開催場所 荒川支所 3階 第1・2会議室
3. 出席委員 会田健次、松田昭平、田島 勉、山田俊治郎、小川 巖、
片岡 弘、山田正巳
※県立坂町病院から野水事務長が説明等のため出席
4. 欠席委員 石山忠一、櫻井 昇、信田瑠美子、小関シヅ子、鈴木 薫
5. 出席職員 荒川支所 渡辺支所長
地域振興課 自治振興室；川崎室長、小川副参事
6. 傍聴者 なし
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

平成25年度 第4回荒川地区地域審議会 会議次第

日 時：平成26年2月4日（火）15:30～
会 場：荒川支所 3階 第1・2会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 報 告

(1) 村上駅周辺まちづくりプラン等策定委員会 委員の推薦について

(2) 荒川地区地域審議会意見書について

4 議 事

(1) 荒川地区地域活性化推進事業（地域審議会提案事業）について

5 その他

6 閉 会

会 議 経 過

1. 開会 (15:30)

事 務 局； それではただ今から平成25年度第4回荒川地区地域審議会を開会します。開会にあたりまして当地域審議会の会田会長よりご挨拶を申し上げます。

2. 会長挨拶

会 長； 皆様にはご多用の中お集まりいただきまして、ありがとうございます。私どもの地域審議会も発足から6年が経とうとしております。今の任期も今年度で切れるわけですが、この間皆様には熱心にご審議いただきまして、誠にありがとうございます。

先般、この審議会で議論していただいた「県立坂町病院内で病児・病後児保育を実施することについて」の意見書を市長に提出して参りました。これから市の内部でいろいろと議論していくようではありますが、何とか私どもの意見が生かされて、坂町病院の活性化や子育て支援の充実に繋がっていけばと思っております。

それでは、これから会議を進めて参りますが、よろしく願いいたします。

事 務 局； それでは委員の欠席の報告をさせていただきます。荒川地区体育協会の石山委員、社会福祉協議会の信田委員、荒川地区PTA連絡協議会の櫻井委員、県立坂町病院長の鈴木委員、あらかわ婦人会長の小関委員から欠席のご連絡がありましたのでご報告いたします。また、本日は県立坂町病院から野水事務長さんに説明等のためご出席いただいております。

次に資料の確認をさせていただきます。本日の資料につきましては、会議次第、資料1 村上市村上駅周辺まちづくりプラン等策定委員会委員の推薦について、資料2 総合運動公園ホテルの里づくり事業予算資料、それともう一つチラシになりますが、坂町病院健康ナイトスクール「なんじだね」となっております。お手元にありますでしょうか。

それでは、ここからは会長に議長をお願いし、会議を進めていただきたいと思います。

3. 報告

(1) 村上駅周辺まちづくりプラン等策定委員会委員の推薦について

会 長； それでは日程3の報告に入りますが、(1)村上市村上駅周辺まちづくりプラン等策定委員会 委員の推薦について、事務局から報告してください。

事 務 局； 【資料1により説明し、会田会長を推薦した旨報告】

会 長； 皆さんのほうから何かございますか。

委 員； 年度内に3回の会議となっておりますが、そんな少しの回数で大丈夫なのでしょうか。

会 長； おそらくコンサルのほうで原案は作ってあって、委員会でそれを手直しするような形になるのではないのでしょうか。アンケート等はすでに終わっていると

聞いています。12日に第1回目の策定委員会がありますので、機会を見て皆さんにご報告したいと思います。

(2) 荒川地区地域審議会意見書について

会 長； 次の報告に移ります。(2) 荒川地区地域審議会意見書について、事務局から報告願います。

事 務 局； 先程、会長からお話がありましたが、去る11月29日に会田会長、松田副会長で市長と直接面談し、趣旨を説明の上、意見書を提出していただきました。その際市長からは、坂町病院活性化協議会の枠組みで考えたいとの話がありました。また、市単独で実施するとしても、坂町病院施設内の受入れ体制、新潟県との調整、市財政の状況などのハードルがありますので、まずは、あらかわ保育園で実施する体調不良児一時預かりの状況を見て、検討していきたいとのことでした。

会 長； 県内でもけっこう実施している自治体が増えてきておりますので、市のほうでもこれから議論していくのだろうと思います。

支 所 長； 市の人口減少対策の委員会でも子育て支援策として病児・病後児保育が挙がっております。

委 員； この審議会でも議論してきた病児・病後児保育は、統合保育園内で実施する体調不良児一時預かりのサービスとは全く別の発想の話なのに、理解してもらってないのでしょうか。

会 長； 十分説明を受けて理解していると思います。市がいかに財政負担をするかによって決まるのではないのでしょうか。

委 員； 病児・病後児保育の実施に向けて、市としてもっと積極的に対応してほしいですね。

委 員； 統合保育園に通う子どもたちは一時預かりのサービスが受けられますが、そうでない子どもたちを病院で受け入れるとか、分けて考えてはどうでしょうか。

委 員； 人口減少がすでに始まっていて、村上市の将来を真剣に考えているのであれば、病院のほうから病児・病後児保育を提案してくれているのに取り組まないというのは、みすみすチャンスを逃がしているようなものです。今の鈴木院長さんだからやろうと言ってくれていますが、院長さんが異動して状況が変わってしまうこともありうる話ですよ。

野水事務長； 鈴木院長はかなり強い気持ちを持って県当局に働きかけています。従来、県立病院で病児保育を受け入れた例は無かったのですが、来年には高田の県立中央病院で病児保育をやる流れができていますようで、病児・病後児保育の必要性に対する県の認識も変わってきたように感じます。

支 所 長； 今までの事例では、個人医院で市の委託によって実施する例が多く、今のお話のように、上越市と県立中央病院で連携して実施するという具体例が出れば、一歩も二歩も前進することになると思います。

委 員； 今、市民病院でも病児保育をやるということで増築しているようです。そういうサービスをやることで、子育てにやさしい村上市だとすれば、看護師さん

もこの地区に住んでくれて、人口増や看護師の確保にも繋がるかも知れない。お互いにメリットがあるのではないのでしょうか。

副会長； まずは、第一弾として市長に意見書を提出したわけですし、少子化対策に直接結びつくことでもありますので、あきらめずに今後も取り組んでいくようにしましょう。

会長； それではこの件は終了して、次に移りたいと思います。

4. 議事

(1) 荒川地区地域活性化推進事業（地域審議会提案事業）について

会長； 次第の4の議事に入りますが、新しい提案というわけではなく、今まで議論してきたことをおさらいして来年度へ繋げようという内容です。事務局から説明願います。

事務局； 【資料2により説明】

会長； 水槽をどこに設置するかということも今後検討していかなくてはなりませんね。皆さんから何かございますか。

委員； ホタルネットは現場に設置するのでしょうか、水槽の水は現場の水でなければならぬのですか。

事務局； 取り組んでいる例を見ますと、水道水でも可能なようです。

委員； 燃料費が予算で上がっていますが、草刈り機はあるのでしょうか。

事務局； 支所の備品を使って実施する考えです。

委員； シルバー人材センターに委託している日数はどの程度ですか。

事務局； 3日程度です。

委員； シルバーではボランティアで運動公園の整備は年1回必ずやっていますね。

事務局； 平成25年度も一度だけボランティアで枝払いをしてもらいました。

委員； 大々的にやるのであれば、農地水か何かでやらないとダメでしょうね。

支所長； ただ、あの場所となると農地水ではできません。対象区域が決まっていますので。

委員； 農地水でとなると、区域内の防除しない場所の用水を利用して、カワニナを放したり、ホタルの幼虫を放流したりすると、環境保全にもなるということですか。

事務局； あくまで運動公園でやるのは実験事業で、取り組みが各集落に広がっていったら初めてホタルの里づくりの目的が達成できるものですので、ぜひとも下鍛冶屋区でも取り組んでいただければと思います。

委員； 幼虫を育てる水槽はどこに置きますか。

事務局； まだ検討中ですが、現場に近いところがいいと思っております。

委員； 冬場は通うのが大変そうですね。

委員； 今年はホタルは飛ぶのですか。

事務局； 今年はまだだと思えます。下水道課長の話では、もともと桜の谷にはホタルが観測されていたそうなので、環境が良くなって戻ってくる可能性もあるとのこと。

会 長； これについては引き続き、来年度進めて参りたいと思います。

5. その他

会 長； 次に次第の5その他になります。

事務局； お手元に、県立坂町病院の健康ナイトスクール「なんじだね」というチラシを配付させていただきました。これにつきまして、野水事務長さんからご説明いただきたいと思います。

野水事務長； 【資料により説明】

会 長； ありがとうございます。皆さんから何かございますか。

委 員； 説明があった「在宅でお看取り」というと終末の診療ということですか。

野水事務長； そうです。これから団塊の世代が高齢化してくると、施設のキャパシティが限られていますので、在宅での終末診療が必要になってくるだろうと思います。その時に医師がどういうフォローをしていけるのか、すべきなのかということについて、地域の皆さんと意見交換をしながら、体制を整えていきたいという思いです。

会 長； 昔の往診とは違うのですか。

野水事務長； 訪問診療になります。往診だと呼ばれたらすぐ行かなければならないのですが、そこまでの医師体制ができていません。

委 員； 在宅看護には、家庭の中のせつない部分が伴いますので、そこら辺が難しい問題ですね。

野水事務長； 老々介護だったり、独居だったり、さまざまな問題があっても、手数があればフォローできるのですが、病院が単独でできることにも限界がありますので、ネットワーク化して対応できるようなレベルまで持っていければと思っています。

委 員； 今は高齢者夫婦の世帯や一人暮らしの世帯が増えてきていますので、看取りまでいかなくとも、非常時にどう対応するかというのは大きな課題ですね。

委 員； 介護認定を受けている人は、デイサービスを利用したり、在宅診療を受けたりして安心できますが、認定を受けていない人が具合が悪くなった時に大変ですね。

委 員； 人口の多い団塊世代が高齢化して、緊急事態で救急車を呼んでも、たらい回し的になってしまうようなことも発生するのではないかと心配しています。どう対応したらいいのか、地域ぐるみで考えていくべきではないでしょうか。

委 員； 救急車を呼ぶ場合のわれわれのモラルの問題もあるのではないのでしょうか。本当に救急なのか、というケースもあるでしょう。

会 長； 高齢者が病気にならないためにどうするかということにお金を使っていくべきでしょうね。

委 員； 今回の坂町病院の事業は良い企画ですね。PRはどのようにやっていますか。

野水事務長； 病院のほうにはポスターを貼っていますし、各世帯に回覧をしてもらっています。

会 長； 皆さんから他に何かございますか。

- 委員； 2月の半ばに地域公共交通活性化の会議が予定されています。荒川地区でのり合いタクシーを運行している会社が二つありますし、実際に携わっている人を呼んで、地域審議会で状況を聞くことも大切だと思うのですが、いかがでしょうか。
- 会長； 市長に意見書を提出した際は、病院のことで精一杯で、その件については言わずに来ました。今月の公共交通の会議にお二人出席するわけですので、その後の状況を確認してから、またお話していきたいと思います。
他に何かございますか。
- 委員； 地域審議会と地元の市議会議員と懇談することはできないでしょうか。
- 会長； 地域審議会としての役割や範囲もあると思いますが、合併後の各地区をより良くしていこうという目的に変わりありませんので、考えてみてもいいのではないですか。
- 支所長； 地域審議会として市議を加えて審議することはできませんが、会議終了後に懇談する形はとれると思います。
- 委員； 5人しかいない市議ですので、地域のために力を結束してほしいですね。
- 委員； 1年に1回位はやったほうがいいですね。
- 会長； 地元の議員さんに個々に呼び掛ければいいことですからね。
大分、時間も経過しておりますので、他に無ければこれで会議を終了したいと思いますが、いかがですか。
それでは、以上で本日の会議は終了致します。長時間のご審議ご苦勞様でした。

6. 閉会 (17:00)